

「消費者市民社会」を実現するために!

消費者市民社会とは・・・一人一人が自分のことだけでなく周りの人たちや、将来生まれて来る人たちのことを考えて行動すること。環境などに配慮した行動を取ることで、持続可能な社会をめざすこと。消費者一人一人が参加して、一緒に作る社会のことです!

消費者として、「できること」「やるべきこと」があります
具体的に、何をしたら良いのでしょうか?



① 不公正な事業者と取引しない

適切な説明もなく、安全性が十分確認できない商品を提供するような不公正な事業者と取引しないようにすれば、事業者の側も商品や説明等の改善を図るようになるはずです。

② 余計なサービスは断る

買物をする時、買物袋を持参すれば、余計な包装のゴミが減ります。
みんなが、包装の少ない商品を選べば、事業者も包装を簡素化するでしょう。
余計なサービスに「NO」という人が増えれば、事業者が過剰なサービスを競い合うことはなくなるはずです。

③ 環境・人・地域に「やさしい」商品を選択する

同じ野菜でも「どこで作られたのか」「環境にやさしいか」など意識して選ぶことが大切です。地元産を選ぶことで、地域の生産者を応援することになります。
海外から輸入される農作物には、「児童労働など不当な搾取が行われていないか」「地域経済に貢献する商品か」などを選択基準にすると良いでしょう。
フェアトレード商品を購入することにより、途上国の自立や環境保全を支援することができます。

▼FLOのブランドマーク ▼フェアトレード認証ラベル



④ 買い過ぎない

ある程度の買い置きはともかく、必要が無いのに大量に買い過ぎると、他の消費者に生活物資が回らなかったり、消費期限が過ぎ大量廃棄されるといった悪影響を生じさせます。
多くの消費者が買い過ぎない事を心がければ、必要な人に商品が行き渡り、資源の無駄を省くこともできるのです。

⑤ 消費者センターに相談する

トラブル情報を社会で共有することで、トラブルの原因となった社会的な問題の解決にもつながります。
センターでは、自主交渉の支援や事業者との間であっせんを行ったり、弁護士など専門家の支援・助言が必要な場合は、適切な機関を紹介します。